

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童デイサービス ぐりとと経塚		公表日	令和 8 年 月 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	・学習スペースやお昼寝、活動を行うスペースを分けるようにしている。	・利用児童の人数に合わせて職員間で連携して、適宜スペースの確保をしていけるように検討していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	・学習スペースやお昼寝、活動を行うスペースを分けるようにしている。	・職員が欠勤した時に現場の負担が大きいため、職員の確保を検討していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3	・朝礼で活動や児童の様子の共有を行う機会を作っている。	・日々の活動の振り返りを行い、職員の意見から業務改善が出来る場面を適宜作っていきようにしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	・アンケートの提出を期限を設けてお伝えして配布している。	・今回初めての事業所評価であったので、保護者様から頂いた内容から業務改善に努めていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	・朝礼などで職員の意見を共有できる機会を作っている。	・意見を把握する機会はあるが、業務改善にまで至っていないので、業務改善まで行っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		・必要に応じて第三者の外部評価を検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	・看護研修にて、AEDや止血法についての研修を実施している。	・事業所別ではなく、次年度からは法人全体で一室に研修を実施していけるように検討していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	・活動や支援内容を細かく分けて作成し、公表している。	・提供している活動や支援を精査して支援プログラムの見直しを図る。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	・職員の意見をいただき、計画書に落とし込めるようにしている。	・共有出来ていないと感じることもあるので、計画書を作成次第、全職員に目を通してもらい、チェックしてもらうようにしていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	・フォーマルな様式を使用してのアセスメントや5領域に分けたアセスメントを契約時に保護者に記入してもらっている。	・日々の行動観察に関するインフォーマルなアセスメントの作成を検討していく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・作成する時間を複数職員で意見を出しあって作成する場面を設けている。	・活動リーダーの責任が大きいうように感じることもあるので、周りの職員のサポートであったり、準備物などを分担して取り組めるようにしていくことを検討する。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	1	・個別支援や集団支援を組み合わせる計画書を作成している。	・計画書の情報共有がしっかり出来ていないこともあるので、情報共有を密にしていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	2	・朝礼にて本日の活動内容を話す場面を設けて、共有をする機会を作っている。	・朝礼にて活動内容や本日の流れを把握して、細かい職員の配置まで確認していけるようにしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・翌日の朝礼で活動の振り返りや児童の共有を行うようにしています。	・申し送りファイルを作成しているので、休んだ職員には目を通して情報共有が出来るようにしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	・事業所会議をもって、職員の意見を聞き出す機会を作っている。	・特定の職員が参加しているので、児童の事を把握している現場職員も同行出来るように体制を整えていく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			・特定の職員が参加しているので、児童の事を把握している現場職員も参加出来るように体制を整えていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・市の開催しているクリスマス会への参加。 ・市の開催している事業所連絡会に参加している。	・今後も地域の関係機関と連携していくと共に、関わる機会を増やしていけるように検討していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	・園や学校と送迎の際に申し送りにて情報共有を行っている。 ・児童の様子によっては関係機関と連携して学校で関係者会議を実施する場面を設けている。	・在籍している園や学校と支援内容を共有し、職員とも情報共有を密に行っているようにしていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		・四月から就学児童がいるので、小学校の先生と支援内容の情報共有を行っている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		・助言を受ける機会を設けるように検討していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		・地域の学童や児童デイサービスと交流出来る機会を作っていけるようにする。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	・送迎の際に保護者と事業所の様子や自宅での様子を共有する機会を持っている。	・職員全員で共通理解を持っていない事もあるので、職員間での共有を密にしていく。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		・必要に応じて家族支援プログラムを取り入れていか検討していきたいと思います。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	・日々の申し送りにて自宅での様子を聞く機会を作っています。	・適切な助言が出来るように、職員のスキルアップと情報共有を密にしていきたいと思います。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5		・夏休みに親子バーベキュー等を実施して交流の機会を設けていましたが、他にも交流が出来る機会が設けられるように検討していく。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	・保護者様からの申し送りからお聞きして、職員で情報共有を出来るようにしています。 ・意見箱の設置をしています。	・保護者、職員と情報共有を密にして、相談対応できるしていく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	1	・月間活動表や保健だより等を毎月配布しています。	・SNSを通じて活動の様子等を発信していますので、保護者様にお伝えしていきたいと思えます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4		・地域の方を招待できる行事の企画を検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・年に2回ほど消防署と連携して通報や避難などを行っている。	・備蓄物資を揃えていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	1	・避難訓練や感染症防止など適宜行うようにしています。	・現在安全計画を作成しています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	1	・ケガや体調不良時など保護者に随時連絡を行うようにしています。	・現在安全計画を作成しています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	1	5		・しっかり共有できていないと感じるため、ヒヤリハットがあったときは朝礼にて共有を行っていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	2	・ズームを使用して虐待防止研修を実施。	・全職員が参加出来ていないこともあるので、法人全体で研修機会が持てるように検討していく。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	3		・身体拘束についての基準を法人全体でまとめた内容を、保護者に説明していけるようにしていく。	